

まちみらい ニュース News

Vol.36

編集 (財)まちみらい千代田

〒101-0054
千代田区神田錦町3-21ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
http://www.mm-chiyoda.or.jp

ちよだのさくらを楽しみましょう



▲千代田のさくらで作った箸×宇野千代デザイン

桜の木札やストラップ・箸

千代田区観光協会が推奨グッズを製作

千代田区観光協会では「千代田のさくらのブランド化」「さくらを通じた新たな産業の創出」「千代田のさくらの維持・再生」を目的として、さくらを活用した事業を実施していきま

す。今回は、まもなくはじまるお花見シーズンにあわせて、この冬に千代田区内で伐採・剪定された桜の木の幹や枝を活用した

桜の木札やストラップ、箸といった「千代田のさくらグッズ」を製作しました。この「さくらグッズ」には、千代田のさくらを愛していた宇野千代さんの桜のデザインとメッセージがあしらわれており、お花見客向けに数量限定で販売されます。

※収益の一部はさくら再生基金に寄付し、千代田のさくらの維持・再生に役立てられます。

販売期間 さくらまつり期間中
販売場所 千鳥ヶ淵緑道の案内所
※伐採および剪定された桜の木を使用するため、無くなり次第終了となります。

※販売価格等の詳細は千代田区観光協会のホームページをご覧ください。

URL <http://www.kankochiyoda.jp/>

ひらくちよ

「さくらの再生って、どんなことをするの？」

区の花さくら・ソメイヨシノは、樹齢40年程になると大きな変化を起します。もともと幹の部分腐って空洞化しやすい性質をもつソメイヨシノですが、樹齢40年目あたりからこの空洞化が顕著になり、それが原因で枯死してしまうものと、空洞化を補うように、本来根が出る場所ではない部分から新しい細かい根(不定根と呼ばれています)を生やして再生し生き延びるものに分かれています。

千代田区が実施している「さくら再生事業」では、この不定根の発生を促し根付かせる補助をする。ことで、さくらの枯死を防ぐという作業も行なっています。



創作和紙の作品が区役所を飾る



和紙アーティストの堀木エリ子氏を講師に迎えて行なわれた「創作和紙ワークショップ」で制作した作品を、3月2日(日)から16日(日)まで区役所1階区民ホールにて展示しました。

一般参加者約100人が「祭」をテーマに漉き上げた和紙作品は1枚1枚集められ、2基の光柱(ひかりばしら)に仕上がりました。高さが約2mあるこの光柱はその存在感を示しながら、中に配された電球により暖かみ

リアルタイムで見頃をチェック

千鳥ヶ淵ライブカメラ



昨年映像

千鳥ヶ淵のライブ映像をインターネットの千代田Day'sホームページからリアルタイムでご覧いただけます。また、つばみからの開花状況も日々掲載されています。お花見に出かける際には、ぜひ、さくらマップと見ごろの桜を確認して足を運んでください。

URL <http://chiyoda-days.jp/sakura2008/>
問合せ 企画総務グループ

防災セミナー開催報告

マンシオンにとつての震災

3月1日(土)区立九段生涯学習館において、千代田マンシオン交流会との共催によるマンシオンセミナーが開催されました。

当日は定員70名の会場がほぼ満席となり、防災に関する意識の高さが伝わってきました。

第1部では、阪神・淡路大震災の体験者である谷川三郎氏から被災当時の状況を映像を見ながら説明いただきました。谷川氏は、地震発生からわずか12秒間の縦揺れで、六千四百余名の尊

い命が奪われたことやお寺への遺体安置依頼、葬儀会社への棺桶百個とドライアイスの依頼など、普段の防災訓練では話題とならないような生々しい体験話を語られ、「自分の命は自分で守る」「地域は地域で守る」という自主防災の必要性・重要性



▲体験談に熱心に耳を傾ける参加者

マンシオン管理組合に「防災ラジオ」を配付

千代田マンシオン交流会に加入している各マンシオンに防災行政無線で放送した情報を聞くことができる「防災ラジオ」を配付しています。

これまで防災無線情報を入手する手段としては、区の防災課から各町会に配付してきた防災無線の個別受信機がありましたが、今回の防災ラジオの配付により、マンシオンでも防災情報収集が容易になります。

まちみらい千代田の職員と千代田マンシオン交流会の役員が、各



▲今回配布している防災ラジオ

管理組合に直接訪問して順次配付中です。
問合せ 居住支援グループ

賛助会員向け施設見学ツアーを開催

まちみらい千代田の賛助会員を対象とした施設見学ツアーを2月7日(木)に開催しました。この見学ツアーでは、普段見学することのできない施設を見学できるため、毎回参加者の方から好評を得



▲地域冷暖房プラントを見学

ています。今回は、汐留北地区の地域冷暖房を行っている汐留アーバンエネルギーと東京ガス本社内にある防災・供給センターを見学しました。汐留アーバンエネルギーでは、汐留のビル群を支える最新のガスボイラーや氷蓄熱槽を見ることができ、地域冷暖房の仕組みを知ることができました。東京ガス防災・供給センターでは、24時間ガス供給を守るシステムや地震でも安全

を確保する最新のテクノロジーを見学しました。参加者の方からは、通常入ることのできない場所ばかりだったので、大変興味深かったとの声を多くいただきました。

まちみらい千代田では賛助会員を随時募集しています。個人は一口5千円、法人は一

口5万円(全て年額)から入会できます。頂いた賛助会費は、千代田まちづくりサポートの助成金等で千代田区のみちづくりに活用させていただきます。千代田区の活性化にご関心のある方は、ぜひご入会をご検討ください。問合せ 企画総務グループ

区内公園の魅力を紹介

「千代田days」公園三昧をご覧ください

千代田区地域ポータルサイト「千代田days」では、まちみらい千代田のスタッフがブログを連載しています。

昨年8月に連載を開始した「公園三昧(こうえんさんまい)」では、区内の身近な公園にスポットをあて、楽しみ方や味わい方などトピックを交えながら紹介しており大変好評をいただいています。皆さまぜひご覧ください。

「これまでに取り上げた公園」都心の真ん中の緑と静寂あふれる「北の丸公園」／芝が広がる都会の庭「皇居外苑」／自然を気軽に学ぶには最適「皇居東御苑」／ランチアップフェ

と噴水が特徴「和倉噴水公園」／滝と茶室のある「清水谷公園」／四季を感じる神田の憩いの場「神田児童公園」／歴史を感じる都会のオアシス「錦華公園」／千代田一長公園「外濠公園」／ラジオ体操会の発祥の地「佐久間公園」／東郷平八郎私邸の跡地「東郷元帥記念公園」(2月27日ま

での掲載分)

スタッフブログでは、この他に区内の革新的な企業を紹介する「企業探訪」や最新モバイルの進化をリサーチする「モバイル最前線」、いざという時のための「防災かわらばん」を連載中です。

スタッフブログは千代田daysメールマガジンでも配信しています。メールマガジンの購読をご希望の方は、ホームページから登録ください。

問合せ <http://chiyoda-days.jp/> 地域振興グループ

商店会に入りませんか?

まちみらい千代田では、街の活性化に繋がる商店会主催のイベントに対して、さまざまな角度から支援をしています。昨年10月の「お茶の水アートピクニック」や今年1月の「神田雪だるまフェア」なども開催経費の一部を補助しています。

また、商店会への支援制度やイベント開催、インターネットなどを利用した情報発信についてのご相談は、まちみらい千代田・商工振興グループへお問い合わせください。

■商店会への加入(千代田区商店街連合会のホームページ)
<http://www.chiyodaku-shoten.jp/index.html>

■中小企業や商店街等の支援(まちみらい千代田ホームページ)
<http://www.rnm-chiyoda.or.jp/project/shoko/index.html>



▲和倉噴水公園

分譲マンションのQ&A Vol.14 住宅火災を防ぐには?



消防法及び市町村条例の改正に伴い、すべての住宅に火災警報器等の設置が義務づけられました。

千代田区内も都の火災予防条例に基づいて、新築・改築する住宅は平成16年10月1日より設置が義務づけられています。既存の住宅についても、平成22年4月1日より設置が義務付けられます。

消防法が住宅を対象とした規制を行うのは今回が初めてですが、これを機に、火災対策について考えてみましょう。

■火災警報器で火災を知る

火災対策は、何といたっても予防が第一なのですが、うっかり消し忘れた火の元や、古い家電製品などから、思わぬ発火が起こることもありま

す。いざというとき、いち早く気づいて初期消火活動を成功させるために重要な役割を果たすのが、「住宅用火災警報器」と「消火器」なのです。米国では、かつて住宅火災による死者が非常に多く社会問題にもなっていました。火災警報器の設置を義務化して全住宅の90%まで普及させたことにより火災による死者が半減したそうです。

高機能な火災警報器は高価で電気工事が必要なので躊躇

するという方には、自分で取り付けられる手軽な電池式の煙感知器もあり、それだけでも十分効果があります。



いろいろなタイプの火災警報器

煙式 熱式 複合型

■初期消火を体験しましょう

そして火事に気づいたら一刻も早く消火を!ということですが、すでに消火器をお持ちの方も多いと思いますが、いざというとき正しく消火器を使えますか? 「自信がない」、「消火器を使ったことがない」という方にお勧めなのが、初期消火体験です。東京消防庁の池袋防災館(豊島区西池袋2-37-8)などの施設で実施していますので、実際に消火器を使った消火活動を体験してみるとよいでしょう。

ただし、今回ご紹介した防火商品は悪質な業者によるトラブルも報告されていますので、ご注意ください。

問合せ 居住支援グループ
 今回は「マンション暮らしのマナー」

広告

企業の福利厚生を応援します。

会員募集中

主なサービスと特典

- 結婚祝金・入院見舞金・死亡給付金などの支給
- 契約宿泊施設の利用・宿泊助成などのサービス(20年度から宿泊助成が1泊3,000円となります。)

【会員料金でご利用、ご購入いただけます】

- 健康診断・人間ドックの利用助成、健康入浴施設・博物館・美術館などの入場券
- 観劇・コンサートのチケット・レストラン食事券など
- 東京ドームシティアトラクション・としまえん・西武園などのチケット
- 東京ディズニーリゾート特別利用券(1,000円引)、映画チケット補助券(500円引)など

サービスの詳細や入会方法など、まずはお気軽にお問い合わせください。

東京都千代田区神田錦町三丁目21番地 ちよだプラットフォームスクウェア4階

URL: <http://www.yutori-chiyoda.net>

03-3294-8558

有限責任中間法人 ゆとりちよだ

「ゆとりちよだ」は、千代田区内の中小企業の福利厚生をお手伝いし、区内中小企業の発展を目指すための法人です。会員の皆様の会費と千代田区からの補助金により運営。皆様にご満足いただける、さまざまなサービスを提供しています。

わずか500円の月会費で多彩なサービスを展開

会費は一人月500円(入会金200円)で大満足のサービスをご提供。区内の中小企業で働く方が入会できます。